



ハトダヨ
2020年
11月号

函
館
市

中央図書館だより

編集・発行

函館市中央図書館 指定管理者

図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町26番1号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

第54号 令和2年11月1日発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。

ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。

ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼令和2年10月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／



少年と犬

馳 星周／著

11

一人称単数

村上 春樹／著

2

クスノキの番人

東野 圭吾／著

12

暴虎の牙

柚月 裕子／著

3

流浪の月

凧良 ゆう／著

13

妖(あやかし)の掟

誉田 哲也／著

4

家族じまい

桜木 紫乃／著

14

ライオンのおやつ

小川 糸／著

5

カケラ

湊 かなえ／著

15

黙示

今野 敏／著

6

きたきた捕物帖

宮部 みゆき／著

16

焦眉

今野 敏／著

7

流人道中記 下

浅田 次郎／著

17

スキマワラシ

恩田 陸／著

8

逆ソクラテス

伊坂 幸太郎／著

18

任侠シネマ

今野 敏／著

9

流人道中記 上

浅田 次郎／著

19

半沢直樹 アルルカンと道化師

池井戸 潤／著

10 告解

薬丸 岳／著

20

オフマイク

今野 敏／著



第5回 郷土の歴史講座 函館市中央図書館開館15周年記念

図書館の歩みと中央図書館の誕生

日時：令和2年 11月28日(土) 午後2時開演(13時30分開場)

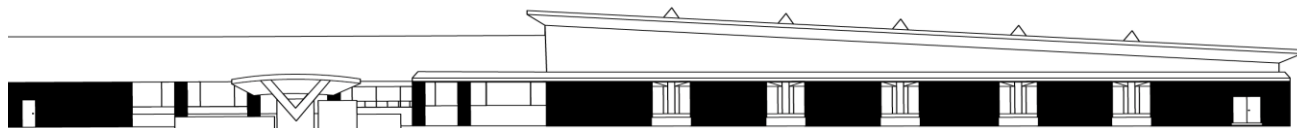
場所：函館市中央図書館 視聴覚ホール

定員：140名(当日受付)・入場無料

講師：佐田祐一氏(建築家・函館市中央図書館設計者)

丹羽秀人(函館市中央図書館館長)

協力：函館の図書館と歩む会



詳しくは館内チラシ・ポスターをご確認ください／お問合せ：函館市中央図書館 ☎0138-35-5500 (企画担当)

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

タイトル：「世界で一番美しい
かくれんぼ」

棚：A13～15
請求記号：481.78 ㇏

文：アンナ・レヴィン 出版社：小学館（2018年12月）

生物が生き残るために身に着けた技、「擬態」。それはまるで命がけの「かくれんぼ」。この本は、たくさんの写真家たちが苦心の末に撮影できた、生き物たちが自然の中に溶け込みすぎた姿の写真集です。見つけることができなくても大丈夫。最後のページにちゃんと答えが載っています。みなさんも、この「かくれんぼ」の「おに」になって生き物たちを探してみませんか？

タイトル：「マンホール大百科
東日本編」

棚：J20～22
請求記号：518 マン

編：鈴木出版マンホール研究会 出版社：鈴木出版（2020年3月）

思わず写真に撮りたくなるような、今でいう『映えるマンホール』を紹介した一冊です。各地域の自然・伝統工芸・名物などさまざまな絵柄がマンホールに描かれています。北海道からは函館市の「イカ」をはじめ、北斗市の「新幹線とトラピスト修道院」や浜中町の「ルパン3世」など素敵なデザインが紹介されています。ぜひカラフルで楽しい『ご当地マンホール』をお楽しみください。

そして観光に行った際には少し足元にも目を配ってみてください。

タイトル：「原発処分
先進国ドイツの現実」

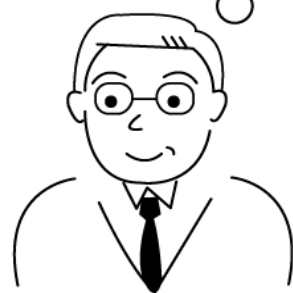
棚：A16～18
請求記号：539.091 ヒロ

著者：広瀬 隆 出版社：五月書房（2014年4月）

著者が2013年にドイツ各地の原発廃炉と放射性廃棄物処分場を見学・取材した結果を写真入りで読みやすく書かれています。また、著者が強く伝えたいことは太字になっていてわかりやすいと思います。

つくづく、私たち人間の手に負える訳がない物に手を出してしまったと思います。いまこそ、多くの人に読んで欲しいと思います。

館長随想（五十四）



11月5日、今年7月直木賞を受賞した作家馳星周さんの講演会を開催します。馳さんには、昨年度講演を当館でしてほしいとお願いし内諾をいただいていた。ですから今年度の当初からの計画にあった事業です。しかし、コロナの感染拡大や、馳さんが直木賞受賞で忙しくなったことで最終的な日程がなかなか決まりませんでした。が、約束通り来ていただけることになりました。現在の馳さんの人気はすごいので、抽選で百人以上の方に落選の葉書を送りました。当選できなかった皆さんは本当に申し訳ありませんでした。

11月27日中央図書館は開館15周年を迎えます。私の図書館学の師である菅原峻先生は、図書館の年齢は十年で1歳と数えなさいと言われてました。ですから函館市中央図書館は1歳半ということになります。が、函館の図書館の歴史は岡田健蔵が自宅に設けた本棚に始まります。これは明治40年のことです。今年で112年、つまり11歳です。世界の図書館の歴史を考えるとまだまだ日本の図書館は若いと言えます。中央図書館は赤ちゃんですから、これからどう成長していかなければならないのか、誕生日は市民の皆さんと一緒に考える機会です。

開館15周年を記念して、11月28日（土）函館市中央図書館の設計者佐田祐一さんの講演会を開催します。佐田さんは、日本の図書館設計のさきがけとして高名な鬼頭梓氏の事務所でも多くの設計に関わり、その後独立して、名建築といわれる兵庫県淡路島にある洲本市立図書館を設計し日本図書館協会の建築賞の他数々の賞を受けています。函館の図書館も皆さんが見て素晴らしいと感じていませんか。やはり函館市中央図書館も建築賞を受賞しています。佐田さんはどんな思いでこの図書館を創ったのか、ここは何故こんな形なのか、設計者でなくてはわからないことがあります。この機会に私もお話を聞きたいと思っています。

この日は私も岡田健蔵から始まる図書館について、少しだけお話させていただきます。図書館をもっと知って、もっと楽しく利用するためにどうぞお越しください。

デジタル資料館 紹介



新館全景 市立函館図書館開館式記念 (pc000101-0001)

現在の函館市中央図書館は、今から15年前の2005年11月27日に開館しました。写真は、函館公園にある旧市立函館図書館が昭和3年7月に開館した当時の記念絵葉書一枚です。この写真を見て懐かしく思われる方も多いのではないのでしょうか。

俳句は五七五 十七音
の世界最短の詩です。
縦に空白を作らず作成
します。

自由律という
型の無いものも
あります

夏井さん曰く、俳句に
必要なものは「セン
ス」ではなく「型」誰
にでもつくれます。



俳号は、俳句用の
ペンネーム
何回リセットしても
OK

俳句を発表する時は「俳号」
を使います。本名ではなくとも、
カタカナ、記号、なんでも
いいそうです。

今年も残すところ二か月余り。思いを込めて
秋深し俳句を詠んでみませんか

TV 番組「プレバト」
の名物講師です。

今話題の俳人と言え
ば「夏井いつき」さ
ん。著者検索すると
資料が出てきます。

季節を表す季語。俳句の
肝です。本格的に始めよ
うと思ったら、季語が載
ってる「歳時記」を読む
のがおすすめ。

俳句の季節は次の
五つに分かれます

立春から立夏の前日
までは春
立夏から立秋の前日
までが夏
立秋から立冬の前日
までが秋
立冬から立春の前日
までが冬
一月一日から十五日
までが新年



キーワード検索「俳句」
「入門」でたくさん資料が
出ます。本を読んで気楽に
俳句を始めませんか？

